

令和6年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

キックオフミーティング 資料

活動団体の活動におけるテーマ 『クロスオーバー』

活動団体の活動地域 : 新潟市

活動団体名 : NIIGATA MUSIC LABORATORY

中間支援主体名 : 社会事業化団体SHE



活動団体と地域の紹介

NIIGATA MUSIC LABORATORY

「新潟を音楽の街に！」をテーマにミュージシャンやクリエイターの活動支援を行っており、街の豊かさや憩いを表現する活動環境の整備にも寄与している。地産地消をコンセプトとした地域循環型フェスいわむロックFESTIVALへ関わりつつ、数多くの公共施設、行政主体のまちづくり事業や市民活動サポートなど積極的に行っている。セルフマネジメント講座などを通じて地域のプレイヤー発掘育成にも力を入れている。本年度はこれらをオンライン&オフラインで活性化する「NEW HOPE」プロジェクトを立ち上げた。

地域の紹介

地域の現状と課題や資源：課題解決できるプレイヤーが点在しているが出会いの場がなく、常に人手が足りず、ソフトの場(活動)が生まれにくい。また、高齢者のプレイヤーが多くいるが、柔軟な対話が難しく若いプレイヤーが寄りつかず、良い取り組みや事業が消滅している。また、創業率も低い。

新潟は、大学や専門学校が多くあり若者の人口は多い。そして、地域づくりに興味のある学生が点在している。また、自然が多くあり自然体験ができる場所が多くあるが、活用方法が知られていないのか、自然に触れる機会が少ない人が多い。

新潟市中央区地域課事業「はじめて、しもまち。」MUSIC VIDEO



新潟市西蒲区共催 岩室温泉いわむロックFESTIVAL GREEN STAGE



活動団体と地域の紹介

活動団体が活動をはじめたきっかけ

代表は音楽エージェントとして新潟で沢山の才能を見てきたが、環境が不十分であるがために、埋れ活かされず、勿体無いと感じる結果を多く見てきた。この状況を街全体で変えていくことが出来れば、各分野が連携し、環境を丁寧に組み直し、音楽・芸術に限らず多くの可能性と才能を羽ばたかせる街になると考え活動を始めた。

新潟には豊かな資源（ヒト・モノ・コト）が溢れている。その一方で、パブリックにおける音楽家やアーティストのための環境は不十分であり活動場所は限られる。豊かな街並みと共に、芸術を受け入れる土壌が育まれたら、新潟の魅力は新たな時代を迎え、沢山の人が新潟を選ぶ理由になると考えた。資金がかからず、代表自身のリソースで地域貢献をするという意味でも、良いテーマだと感じ団体として活動をスタートした。

活動団体の理念・大事にしていること

「新潟の街を素敵な街にしたい。思いやり溢れる支え合いの街に。沢山の個性を認め助け合う社会に」をテーマに、誰かのやりたい・スモールスタートを応援し、互いに支え合い、また新たなチャレンジを創出する。ファーストペンギンの勇気を讃える場でありたい。

街のプレイヤーが多く生まれること、スポーツで言うところの競技人口を大きく伸ばすこと、その中からプランナー・コーディネーター・プロデューサーが生まれる体系的なミックスカルチャーシティを目指す。

活動計画（概要）

地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

- ・地域の課題を共有・理解・深堀していく場を提供し、仲間を見つけ、それぞれの活動もしくはは新たな活動が動いていくきっかけを作る。
- ・地域に関わるハブとして活動する人材で構成。主体的にチャレンジしたい人やそれを応援したい人々を受け入れ、繋ぎ、形にしていく。ここで生まれたプロジェクトは、それぞれの意志で構成され、自由に活動の幅を広げ、持続可能性を模索しながら成長し、分散し、結合していくことを目指す。

ローカルSDGs事業として取り組む内容

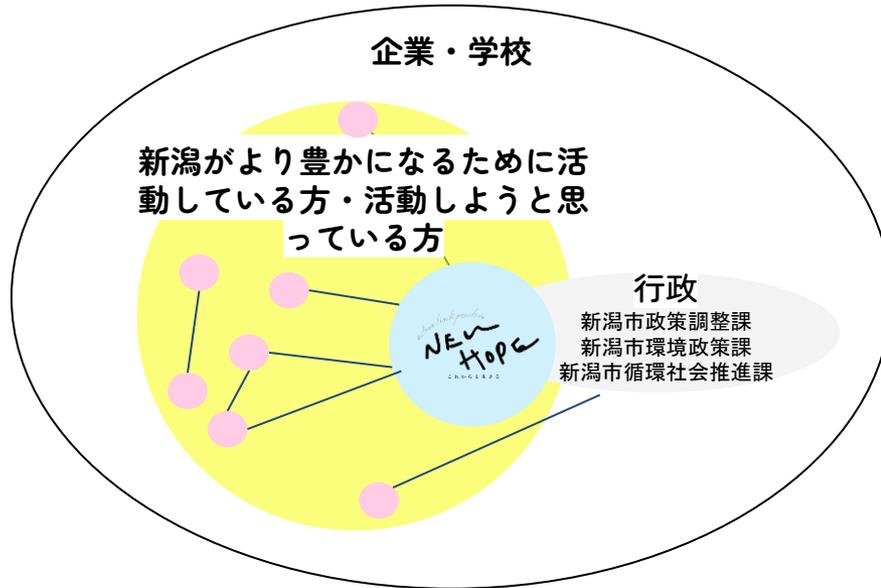
- ・ **Coffee House** : コーヒー片手に(かしこまらず)地域の課題を語り合う場。
- ・ **アーダーコーダー** : CoffeeHouseで出てきた課題(地域版マンドラ)を見ながら参加者同士で自分に何が出来るか？考える場。
- ・ **SpecialEdition** : テーマを設け、ゲストの方をお呼びしクロストーク、参加者とともに課題の共有や能動的にしていく為のワークショップを行う。
- ・ **slack** : オフラインでの熱量を、オンラインに繋ぎ、引き続き情報共有出来る場所。

地域の現状

開港5港の一つとして栄えた新潟市は、開港文化や農・漁・工業文化、これらに紐づく豊かな食文化が魅力となっている。ただ、人口減に加え、開業率が低いことから地域側のプレイヤー不足が課題としてあげられる。環境も資源も豊かな新潟だが、人材と資源のマッチングや人材同士のネットワーク形成が生まれる機会が少ないことも課題だと考えられる。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



主なステークホルダー

旬果甘味店ルコト
スマイルストーリー
赤沢保育園
あぼろん音楽スタジオ 駅南店
PORT
YAKKOTE
大学生(新潟大学・新潟県立大学)

現在、NEW HOPEのステークホルダーはフリーランスが多い。ほかは本業の傍らで活動している方、行政の方である。

足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

企業との繋がり、学校との繋がり、スモールスタート出来るための資金や資金情報

ローカルSDGs事業の詳細

地域プラットフォーム（PF内のメンバーやコアメンバー）で生み出そうとしている
ローカルSDGs事業の詳細

○旬果甘味店ルコト ハネモノ（規格外品）を活用した食育体験の場づくり 佐藤さん

→ハネモノを活用した丁寧な商品作りを食育を通し文化として根付かせていく。

○スマイルストーリー×新川漁港 未利用魚干し焼き事業 綱本さん

→未利用魚の活用。のちにツーリズムに繋げたい。

○赤沢保育園 赤沢みなとテラス事業 赤澤さん

→高齢者が多く住む地区の保育園脇に住宅兼シェアスペースを設けた。

ワークショップやチャレンジショップなどで地域の方同士の繋がりを目指す。

○あぽろん音楽スタジオ 駅南店 空きスペース活用事業 太田さん

○新潟市 PORTマインクラフトディレクション 吉井さん

○YAKKOTE マルシェ 企画制作運営 支援/ディレクション 佐々木さん、堀さん、石橋さん

→新潟市西蒲区。地域の方同士が集まる場を作る

○新潟大学(スタートアップ) 国際交流事業 朝平さん、林さん、小林さん

→外国人留学生が増える中、留学生はバイト・人との交流の場がなく地域となじめない状態にある。課題解決するために交流会を予定。

3か年状態目標

2026年度末の状態目標

R9 4

地域プラットフォームの法人化またはそれに準ずる信用を持つ

2025年度末の状態目標

R8 4

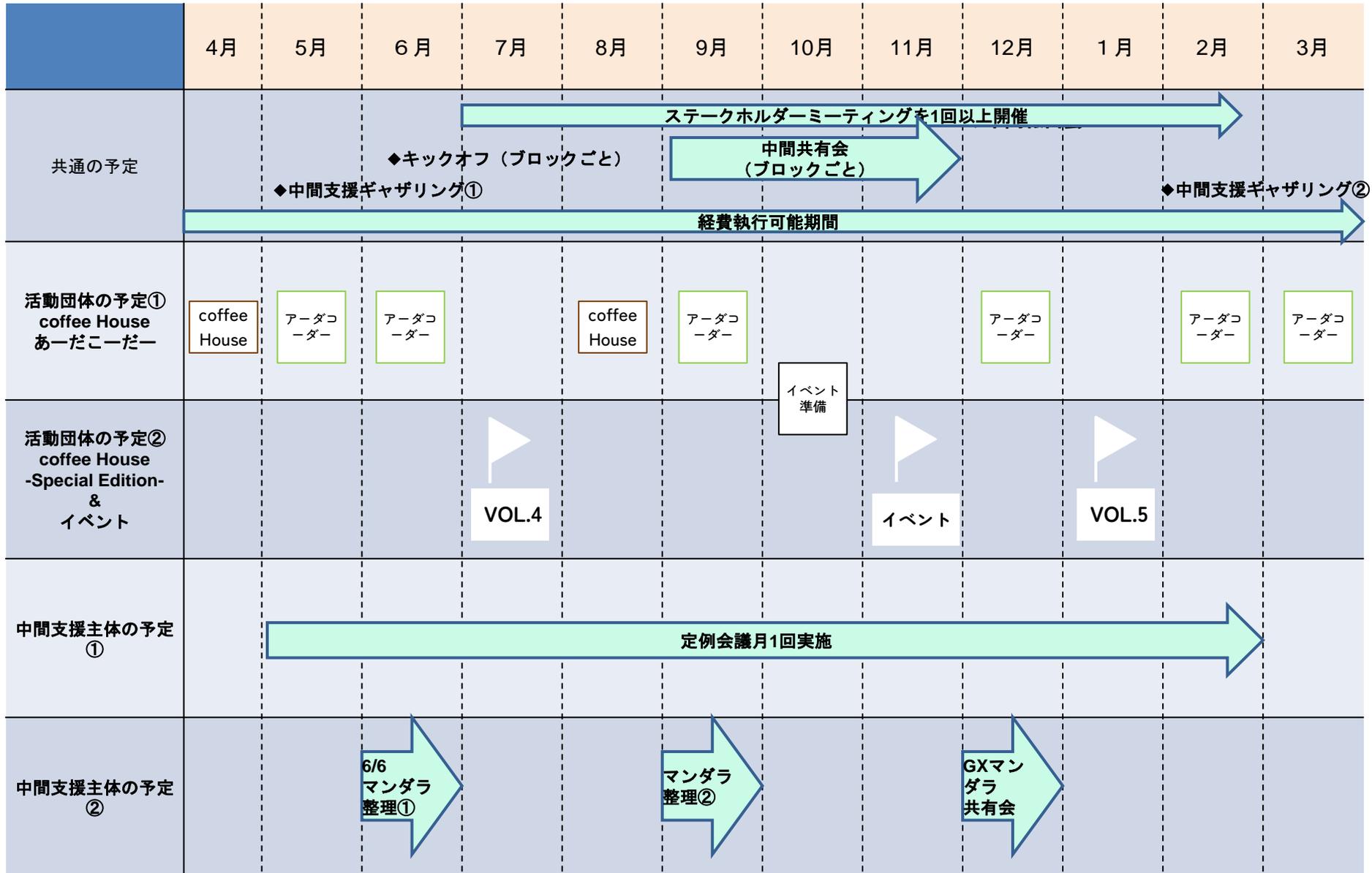
企業・団体・財団など地域の循環を支える仲間作り

2024年度末の状態目標

R6 4

地域プラットフォームの運営／生まれた事業の実施
成果・効果の確認と事業整理
プラットフォームの自律分散化を目指した状態

活動計画



中間支援主体より

中間支援主体の紹介

わたしたちは「環境省令和元年度持続可能な開発目標（SDGs）を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業「環境・農業・観光が調和した岩室温泉街の持続可能なまちづくり」（新潟市）」をきっかけに結成。

「Share Human Energy」をコンセプトに、**個人がもつ可能性や行動を応援し伴走することで、この地に生きる人々の幸せと希望を、共に育てていく団体。**

社会事業化とは、市民が地域社会の環境・経済・社会に係る課題や発展にふれる機会を創出し、市民の意識や行動の移り変わりを支援し、協同や助け合いによる持続可能な地域社会の形成を促すことを指し、その現象の創造を目的としている。

活動団体の取組へのコメント、中間支援の方針・計画

【定期的なマンダラ編集会議】

地域と自分たちの課題、そしてそこに行政視点の課題も重ねながら整理し、身の回りの困りごとの共有を重ねていく。

【定期的な活動団体の棚卸作業】

心理的安全性の高いコミュニケーションの場を創出していくことで、課題から活用への転換がはかられた取り組みへと消化させていく。